

活動報告

団 体 名	癒しボランティアチーム UWJ
活 動 名	7月豪雨災害の被災者に癒しをお届けし地域コミュニティの復活の手伝い
活動期間	2018/07/08～2019/09/30
活動の成果	活動を始めた当初から変わっていないことは「自分だったらどう思うのか?」と1度相手の気持ちになってみてから行動することになっています。今回の豪雨災害の支援をしたことで、たくさんの出会いと学びもあったことは事実です。当初は、ライフラインが絶たれ、猛暑の中水・食べ物・塩は絶対に必要と思い、水・塩むすびを準備し、マスク・塩飴など思いつく限りのものを車に積みこみ配ってまわることに賛同してくれた仲間と車で行けるところまで届けることから始めました。5日目からは、全国各地から届いた多くの支援物資を被災地の中心街から遠いところから配りました。災害に見舞われたことのない地域は、「自分たちでできることから始めないと絶対に守れない」と思い活動を続けました。その中からそろそろ癒しが必要だろうとの思いが一つになりチームとして各地区を訪問するご縁をいただきました。私達の活動は、皆さんに笑顔を届ける活動であること。「できる人ができる時にできる事をできるだけやろう!」と決めて今までもこれからも活動していきます。対象者は被災された方(ニーズに合った方々)なので、特別な限定はしていませんがその時のタイミングで支援を行っています。活動を続けていくことで、皆さんの笑顔が増えていくのがうれしいです。すべては、みんなが笑顔になれる素敵な企画だったからこそ続けていこうとなったはず。形を変え進化しながら全国とつながり今全国で起こっている災害被災地にも届けられるように続けていきたいと思っています。
寄付者へのメッセージ	今回、赤い羽根・ボランティア・NPO 活動サポート募金で助成いただけたおかげで、力のないと思っていた私達でも地元の被災者の皆さんを元気づけたり、笑顔にできるような活動を届けることができました。本当にありがとうございました。まだまだできる事や、やるべきこともたくさんあると思います。そのような不足しているであろう活動をチーム一丸となって考えこの先の活動につなげていきたいと思っています。そして、今回の学びと出会いのご縁を日本中、世界中に大きな輪として広げていけるように、考え活動していきたいと思っています。まずは、地元発信 地元構築から始めます。そしてこのような活動を、若い世代や子どもたちと一緒にやって行くことで、次の世代へとつなげていくことも私達のやらなければならないことの1つであると思います。こんなにまだまだ経験の少ない私達ですがこれからもお知恵を貸していただき、背中を押していただけたら幸いです。本当にありがとうございました。いつか 実際にお会いして、感謝を伝えることができればいいなと思います。

(活動のようす)

